

「なんとかかしたい」という親の気持ち。 子ども自身はどう応え、努力したか？

——適切な接し方・教え方を求めて——

セミナー [教育を軸に子どもの成長を考えるフォーラム]

第38回

「障がい者支援事業助成」(一般財団法人 あすたむ舎) 事業

開催日時 / 2025年2月8日(土) 9:45～11:45

(受付開始 9:30～)

会場 / 川口駅前市民ホールフリンディア

埼玉県川口市川口 1-1-1 キュボ・ラ4階 電話 048-227-7603

JR川口駅東口すぐ

プログラム / [はじめに] 9:45

[座談会形式のシンポジウム] 9:50～11:15

[まとめ] 11:15～11:30

[質疑応答] 11:30～11:45

[おわりに] 11:45

定員 / 70名

(対象 = 保護者、学校関係者、

保育・福祉関係者など)

参加費 / 1,500円 (資料代等)

「発達障害 / 発達の遅れ」を抱える子どもへの対処法に関して、一番大切にもかかわらず専門家からあまり取り上げられないテーマ……それは「教育・学習によって子どもの成長を促す」視点と具体的な取り組みではないでしょうか。「特別な子どもだから仕方がない」「子どものやりたいところから始めよう」「無理はさせない」「様子をみよう」という、強い固定観念が妨げになっていようです。その壁を打ち破るのは生きた事例だと考えます。

第38回の講師は3名。保護者の南條美樹 (miki) さんは、幼児期に「自閉症スペクトラム」と診断された長男の子育てを経験。「学校が好きなきな子ども」へ育て上げた経緯、特に家庭学習の工夫と苦勞、学校の先生方との信頼関係、そして家族の協力などについて話を伺います。

また、幼児期に言葉の遅れ、多動、かんしゃく、偏食などがあり、「自閉症・ADHD」と診断された春野稔さんの成長について、指導に携わったエルベテュークの河野俊一さんと本人が一緒に振り返り、「発達の遅れ」をもつ子どもへの効果的な接し方・教え方のポイントを皆さんと共有したいと思います。

